

## 令和元年第2回江別市総合教育会議

1 日時 令和元年11月21日(木)午前9時00分～午前10時07分

2 場所 市長公室

3 出席者

(構成員) 江別市長 三好 昇  
江別市教育委員会  
教育長 月田 健二  
委員 支部 英孝  
委員 橋本 幸子  
委員 林 大輔  
委員 須田 壽美江

(学校教育支援室)

教育部学校教育支援室長 谷口 圭吾  
教育部学校教育支援室学校教育課長 廣田 修  
教育部学校教育支援室教育支援課長 松井 正行  
教育部学校教育支援室学校教育課学校教育係長 中山 雄太

(事務局)

教育部長 萬 直樹  
教育部次長 伊藤 忠信  
教育部総務課長 近藤 澄人  
教育部総務課総務係長 嶋中 健一  
教育部総務課総務係主査 酒井 和恵

4 議題

- (1) 全国学力・学習状況調査の結果について
- (2) 令和2年度教育施策及び予算に関する意見交換について

会 議 録

三好市長	<p>定刻になりましたので、ただいまから、令和元年第2回江別市総合教育会議を開会いたします。</p> <p>皆様には、朝早くから寒い中お集まりいただきありがとうございます。</p> <p>本日の議題は、全国学力・学習状況調査の結果について、そして令和2年度教育施策及び予算に関する意見交換についての2件でございます。</p> <p>それでは、次第に基づきまして、早速議題に入りたいと思います。</p> <p>初めに（1）全国学力・学習状況調査の結果についてを議題といたします。</p> <p>資料が配付されておりますので、事務局から報告をお願いいたします。</p>
谷口学校教育支援室長	<p>私から、令和元年度全国学力・学習状況調査の結果についてご説明いたします。</p> <p>まず、今年度から学力調査の内容に変更がありました。</p> <p>新学習指導要領の趣旨を踏まえ、これまでの基礎的な知識に関するA問題と活用に関するB問題を一本化した内容となり、初めて中学校英語が教科に加わりました。この中学校英語は、3年ごとに実施されます。</p> <p>お手元の資料1令和元年度全国学力・学習状況調査の調査結果についてをご覧ください。</p> <p>まず、各教科の平均正答率ですが、小学校・中学校別に各教科の平均正答率を表にして記載しております。令和元年度の結果は、小学校・中学校の全教科で全国・全道の平均正答率を上回りました。</p> <p>中でも、今回初めて実施された中学校英語の結果は、全国平均を2ポイント、全道平均を4ポイント上回っており、小学校から英語学習に取り組んできた成果が表れたものと考えます。</p> <p>次に、別冊の令和元年度全国学力・学習調査の調査結果についてをご覧ください。</p> <p>1ページには調査の概要及び結果の概要を、2ページから6ページまでに各教科の結果と、正答率の低い設問及び学習指導の改善点を記載しております。</p> <p>次に7ページから9ページに児童・生徒質問紙、9ページから11ページに学校質問紙の各項目の結果及び改善点について記載しております。</p> <p>この調査から江別の児童・生徒は読書が好きであり、授業中の私語が少なく、落ち着いている傾向が見られ、学校は、授業での電子黒板等ICTの活用、全国学力・学習状況調査の結果を分析し学校全体での改善に活用するほか、分析結果を小学校教育と中学校教育で共有する等の連携を積極的に進めていることが見られます。</p> <p>12ページから26ページに児童生徒質問紙と学校質問紙の回答結果を質問ごとに帯グラフで記載しております。</p> <p>これらの内容につきましては、校長会を通じて各学校に情報提供を行っており、教育委員会と学校が連携・協力して改善を図ってまいります。</p> <p>なお、この調査結果は、既に市のホームページにて公表しております。</p> <p>以上です。</p>
三好市長	<p>ただいま事務局から報告がございました。委員の皆さんからご意見、ご質問等はございませんか。</p>
須田教育委員	<p>今回の全国学力検査の結果、小中学校ともに、どの教科も全国平均を上回るという素晴らしいものでした。江別市の先生方がしっかり指導してくださっている結果だと、とてもうれしく思っています。この調子で、江別市の子供たちの学力がますます底上げされることを期待したいです。グラフを見ると、たまにゼロ回答というところがあるので、そういうところをなくしていくように、下位の子供たちの学力の底上げをしてほしいと、それが重要なことだと思います。</p> <p>また、学校質問紙の中で、授業中の私語が少なく、落ち着いていると思う割合が、小中学校ともに全国平均を30ポイント以上、上回っています。特に中学校においては、静かに授業を受けている割合が100%ということなので、これもずっと続いてほしいと思うところです。</p>

	<p>少し気になっていることは、子供たちの自己肯定感が昨年度より低くなっていることで、全ての子供たちが自分の良いところを見つけてほしいと思います。それは、学校だけではなく、家庭でも普段から子供の良いところを見つけて、認めてあげることが重要ではないかと思います。基本的な生活習慣や家庭学習、読書習慣についても家庭生活が大きく影響を及ぼすことになると思いますので、学校と家庭のきめ細やかな連携をお願いしたいと思います。</p> <p>江別市では、既に小学校から英語教育を行っていますが、今後、授業の一環として認められるので、できればALTの増員など、人的にも物的にもますます支援をいただけたらと思います。</p> <p>以上です。</p>
三好市長	<p>ありがとうございました。そのほかにありますか。</p>
橋本教育委員	<p>須田委員もおっしゃっていましたように、今年も全国を上回る結果となり、安定した子供たちの様子がうかがえます。後半の学校質問紙の中で、須田委員も言っていましたように、授業中の私語が少ないというところは、一番重要なことだと思いますので、落ち着いた環境という点でとても感心しています。しかし、昨年は中学校で100%でしたが、今年は87.5%と、少し下がっております。どこかの学校のどこかのクラスが、少し困っている感じがあるのかと思いますので、学校改善支援プランにあるように、学校と連携を取りながら改善していけるよう、教育委員会も先生方の力になって、バックアップしていただけたら良いと思っております。</p> <p>以上です。</p>
三好市長	<p>ありがとうございます。そのほか、いかがでしょうか。</p>
林教育委員	<p>結果は大変素晴らしいものだと思います。その中で、学校質問紙の方で意見を述べさせていただきますけれども、学習規律から家庭学習、ICT、最後の英語授業まで、全ての項目で全国を上回っているということ。また、質問の回答を見ると、そう思う、どちらかといえばそう思うと肯定的な回答項目が2項目あるのですが、そう思うという1番肯定的な項目に付けている割合が非常に多いことから、各学校側も自信を持って取り組んでいると回答されているところが非常に良いと思います。その結果が今回の学力検査の結果に出ていると読み取れるので、非常に学校の取り組みは評価できると思います。</p> <p>その中で、あえていうと、ICTを活用した授業が、小学校だとほぼ毎日100%使っているのですが、中学校は、ほぼ毎日使っているが50%、週1回以上使っているが50%ということで、見方によっては週1回しか使っていないとも取れるものですから、中学校になると使い方がまだ難しい部分があるのか、こういった形で進めるのが良いのかというところを協議する必要性があるかと感じました。</p> <p>それと、小学校と中学校の連携というところで、大きく全国平均を上回っているものの全体的には低い数字になっているものですから、今、小中一貫教育というのが非常に注目もされているので、江別市の教育の取り組みの一つとして小学校と中学校の連携を密にするというところが、より高くなると市の魅力にもつながるし、小学校、中学校の学力のさらなる改善にもつながると思いますので、今後、この辺に少し力を入れる必要があるかと感じました。</p> <p>以上です。</p>
支部教育委員	<p>私も各委員と同じような考えを持っております。学校に電子黒板を導入してから5年掛かってここまでできたのかなと、その結果が今回の全国学力・学習状況調査の結果になったのかなと思います。おそらく全教科で全国平均を上回るということは、都市間の中においても、江別市は、かなり上位のところにあるのかなと思っております。</p> <p>また、結果が出ることに對して、先生方のご努力、それから児童生徒たちの素直な授業態度を見るにつけて、本当にこの4、5年の間によく頑張ってくれたという感想を持っております。</p> <p>以上です。</p>

三好市長	<p>最後に教育長から意見をいただきますけれども、底上げをされて、小学校も中学校も全国を全て上回ったというのは、今回が初めてだと思います。もう一つは、今まで基礎と応用に分れていたのが一本になりましたので、その影響があったのか、ないのか、学力試験の全国平均、全道平均を上回ったということと何か関係があるのかどうか、その辺を分析したものはあるのでしょうか。全て上回ったのは、今回が初めてですよね。</p>
廣田学校教育課長	<p>近年の状況を言いますと、中学校については、全国平均を上回っている状態で、小学校については、科目によって上回っているという状態でした。ただし、全国平均に届いていないにしても、大きく離れているわけではないので、そういう意味では全国平均並みという状況が近年続いています。問題が統合されたから平均を超えたという訳ではなく、これまでもそのような状況で推移していると所管課では考えております。</p> <p>以上です。</p>
三好市長	<p>それと、これは質問ではないかもしれませんが、学力が全国平均を全て上回ったのは、今までの説明から考えると、学習規律が良いこと、それから家庭学習方法を具体的な例を挙げながら教えたポイントが高いこと、ICT教育が十分に基礎付き始めていること、週1回以上活用したということでありませけれども、そういうことが学力を底上げしているという言い方をしても良いのでしょうか。</p>
廣田学校教育課長	<p>まさに今市長から言っていた項目については、学習環境の充実と言いますか、学習規律、落ち着いた環境もそうですけれども、学習する条件がきちんと整っていると理解しております。その中で、家庭学習の習慣化ですとか、複数の教員が授業に入っていくチーム・ティーチングなどの個別指導的なものも充実しておりますので、例年のそういったものが積み重なり学力向上に結び付くような状況をつくっているのではないかと理解しております。</p>
三好市長	<p>自己肯定感の話がありましたけれども、7ページのところで、アピール度がどんどん下がっているということでした。奥ゆかしいと言っているのか分かりませんが、この辺の分析はいかがでしょうか。</p>
廣田学校教育課長	<p>これは、江別市の課題の一つでもあります。</p> <p>先ほど教育委員の皆さんからもお話がありましたけれども、自己肯定感を高めることは、子供たちの長所ですとか、進歩した部分ですとか、頑張りなどを認めることであると。やはり認めてもらうことによって、子供たちは、自分の肯定的な部分に気付くということがあります。各学校では、子供たちに係活動などの役を持たせて達成した時に、頑張ったねと、頑張りやを認めるような取り組みを続けているところであります。なかなか大きく上昇するという状況ではありませんが、学校ではこれからもこのような取り組みを進めていくこととしております。</p>
三好市長	<p>私の意見ですけれども、これは子供たちの置かれている環境だと思います。そういう環境をつくってあげれば、アピールをどんどんしていくのではないかと思います。是非、教育委員会からも各学校へ、そういう環境づくりをしてもらうよう働き掛けていただけないでしょうか。</p> <p>私もこれまでのICT教育、電子黒板を入れたり、それからチーム・ティーチングを行ったり、さらには英語学習などもインセンティブになっていると思います。そのほか、データに出ておりましたけれども、私語が少なく学習規律が良いというのも、私はある意味では電子黒板などは目に訴えることがありますので、そういうもので集中力が付いてきて、そういう傾向が表れてきているのではないかと思います。</p> <p>しかしながら、これで十分というわけではありません。常に進行過程にありますから、さらに成長していかなければならないと思います。全道の他の学校と争って良いと思いません。競争して良いと思いません。どんどんそういう取り入れをし始めていますから、さらに我々は前に行くよう努力していかなければならないのではないかと考えておりますので、</p>

<p>月田教育長</p>	<p>その辺はお願い申し上げたいと思います。 全体を通して教育長の方から何かありませんか。</p> <p>それでは、私の方から全国学力・学習状況調査の結果等を受けましてお話ししたいと思います。</p> <p>江別市には、管理職の人事交流で他管内から来られている校長が4名います。また、教頭は2名いるところです。</p> <p>それぞれの校長、教頭からは、児童生徒が非常に落ち着いている、授業態度が素晴らしいといった印象であると聞いています。そして挨拶が素晴らしい、歌声が素晴らしいなどとも言っております。そのほか、先生方がこれだけ自ら動く、いわゆる仕事をすることは思わなかったとか、保護者がすごくしっかりしている。地域の学校への支援及び支援組織がしっかりしている。さらには、今まで勤務した学校で経験したことがないことばかりであるというようなことを語ってくれております。また、石狩教育局の義務教育指導監や指導主事たちも児童生徒の落ち着き具合に感嘆の声を上げております。</p> <p>それは、電子黒板、デジタル教科書、学習サポート教員、介助員、支援員、学習支援ボランティア、A L Tの大量雇用、土曜広場、長期休業中の補充的な学習、大学との連携による運動能力プログラムなどが絡み合っ、先ほどの結果を生んだのではないかと思います。そのことによって、これらが総合的に結果に反映してきたと思っております。</p> <p>学習状況調査の学校質問紙によりますと、I C Tを活用した授業において、前年度、大型提示装置、いわゆるプロジェクターですとか、電子黒板等のI C Tを1クラス当たり週1回以上授業で活用した割合は、小学校6年生、中学校3年生ともに100%で、いずれも全国より19.2%高くなっております。</p> <p>英語の授業におきましては、前年度、原稿などの準備をすることなく、即興で自分の考えや気持ちを英語で伝え合う言語活動を行いましたかとの質問には、よくやった、または、どちらかといえばよくやったと回答をした割合の合計は100%で、全国より34.9ポイント高くなっております。</p> <p>また、前年度、生徒が英語に接する機会を増やし、教室を実際のコミュニケーションの場とする観点で授業を英語でよく行った、または、どちらかといえば行ったと回答した割合の合計は100%で、全国より14.0ポイント高くなっています。</p> <p>さらに前年度、英語担当教師とA L Tとの間で授業のねらいや活動の意図、各学級や一人一人の生徒の実態等について共通理解を持ち、協力して授業を行うことが出来ていると思いませんかとの質問には、そう思う、または、どちらかといえばそう思うと回答した人の割合の合計は100%で、全国より6.6ポイント高くなっております。</p> <p>こういうことで教育委員会としましては、これからも電子黒板やデジタル教科書、さらには学校にA L Tなど多くの人材を送り込む必要があると考えているところです。</p> <p>また、2ページから6ページを見ていただきたいのですが、正答数分布グラフを見ますと、小学校、中学校とも中間層の頑張り具合が特に目立っております。この層がもう1問正答を増やしますと、さらに飛躍的に点数が相当上昇すると思われま。</p> <p>そのためには、江別市の学校の優れているところは伸ばしながら、児童生徒一人一人について、教師が学習の方法をアドバイスすることが大切ではないかと思っております。これができれば、ものすごく学力アップにつながるのではないかと考えておりますので、これらを各学校に指示してまいりたいと思っております。本当に子供たちの頑張り大変ありがたいと思っております。</p> <p>以上です。</p>
<p>三好市長</p>	<p>ただいま教育長からもお話がありましたけれども、先ほど学力に関連して教育委員の皆さんからもお話をいただいたところですが、その関連も含めて何かありませんでしょうか。</p> <p>逆に、強いてあげるとしたら課題は何でしょうか。</p>
<p>支部教育委員</p>	<p>これを維持していくということが、難しくなっていくかと思っております。それと、今、教育長もおっしゃられましたけれども、中間層がちょっと頑張るとものすごいことになる、それから須田委員もおっしゃってましたけれども、ゼロ回答の子供をなくすことが</p>

	<p>できれば、これもまた上昇する方向に進み、大変素晴らしい結果が出るのではないかと期待しているところであります。</p>
月田教育長	<p>他の市町村から来た先生方が、江別に来て一番驚くのは、ものすごくたくさんの先生以外の人が、授業に入ってくれているということです。マンパワーの威力というのは、すごいと感じているようですから、その辺りを今後も続けて行かなくてはならないと思っております。</p>
支部教育委員	<p>実際に学校公開日などに観ますと、少し戸惑っている子供のところに補助教員が走って行って教えているというところを何回か目にしています。それで授業に付いて行けるようになるという瞬間を見たこともあったものですから、その辺がすごいなど、授業に遅れる子供が少なくなっている理由なのかなと、すごくありがたいなと見ておりました。</p>
橋本教育委員	<p>子供の側から見ると、自己肯定感が少し気になるところです。毎年、毎年、このような感じで数字が出てきております。やはり子供たちが自分に自信を持てるようになれば、黙っていても頑張ろうという気持ちが出て来ると思うので、学校だけとか、どこどこだけで、というところではなかなか難しい課題ですが、家庭と協力して子供たちが自分を好きになって、自分で頑張ろうという気持ちが出てくると、もっと上がってくるのかなと思います。</p>
三好市長	<p>自己肯定感の問題は、自分の思いの意思表示がどのレベルにあるのかというのが、比較対象が分からないため、評価の難しいところです。それというのも、自分はアピールしているつもりでいても周りから見たらアピールしていないかもしれませんし、周りから見たらアピールしているけれども、本人はそんなふうには思っていないということもありますから、そういう意味で評価が難しいと思います。ただ、第三者が評価してあげると自信になるのではないかと思います。あなたはすごいよとか、頑張っていますよという評価をしてあげると、自分はそういう立場なのだ、状況なのだということで自信が付くのではないかと思います。たぶん学校の先生も同じことが言えるかと思えます。</p> <p>英語学習はどうなのでしょう。英語学習の時間を増やすのは、他の教科の問題もあり、非常に難しいと言っています。英語学習は、今が5、6年生、今度は3、4年生と、どんどん学年が下がって来ています。そうすると他の教科の授業を少なくして英語学習の授業数を確保することになるのでしょうか。それとも全体の授業数が増えるのでしょうか。</p>
廣田学校教育課長	<p>単純に英語の授業数が増える形になりますので、今よりも週当たり1時間増えることになります。それについては、学校では、図工などの教科に比べて60分授業、小学校は、通常1時間を45分授業としていますが、通常より15分長い60分授業というのを設けて、年間の授業時間数をクリアするという形で石狩管内は取り組んでおります。</p>
三好市長	<p>総時間数というの、全て決まっているのですか。</p>
廣田学校教育課長	<p>学習指導要領の中で、英語は何時間、国語は何時間と決められております。</p>
三好市長	<p>では、その調整もこれから出てくるのですか。</p>
廣田学校教育課長	<p>昨年度と今年度が、来年度から始まる新学習指導要領の準備期間になりますので、既にそのように対応済みであります。</p>
三好市長	<p>分かりました。先ほど、ALTの増員の話がありましたので、予算の問題もありますけれども、授業数の問題もありまして、全体を見ていかなければならないのではないかと考えております。以前、1年生から導入するときにも増員について言われたものですから、その辺をクリアしなければならないかと思えます。</p> <p>しかし、江別から国際人をたくさん出したいという思いもありますので、ネイティブな英語ができるようになれば、どんどん関心も高まりますから、そういう環境をつくっていきたいと思っております。</p>

	<p>そのほか、何かありませんか。よろしいでしょうか（了）  また、何かありましたら最後にもう一度お話をお聞きしますので、発言していただきたいと思います。  以上で、本件を終結いたします。  次に、（２）令和２年度教育施策及び予算に関する意見交換についてを議題といたします。  先月でございますけれども、新年度に向けた予算編成方針説明会を開催いたしまして、私の方から新年度予算編成にあたっての職員への指示事項を申し上げたところでございます。  私からは、第６次江別市総合計画えべつ未来づくりビジョン後期の２年次目になり、前期を終えて、教育、さらには子育て等の政策を進めて、少しずつ評価も出始め、今回は学力向上という形で評価が出ているところであります。引き続き、この２年目におきましても、安心して暮らせるまち、活力のあるまち、子育て応援のまち、環境にやさしいまちの４つの柱と、基本理念の根幹である協働のまちづくりを踏まえた政策を形成していきたいと思っております。当然、健全な財政運営を行って、既存事業の大胆な見直しをしながらも、必要な予算を計上し、そして事業展開をしていきたいと思っております。  具体的な内容については、先日の定例教育委員会で説明されたと聞いておりますが、本日は、来年度の教育施策及び予算に関する意見交換ということでございます。例年、市教委予算の研修協議会から新年度予算に関しての要望を受けているとのことですので、その点も踏まえて、皆さんと議論をしたいと思っております。発言をお願いしたいと思っておりますが、いかがでしょうか。</p>
橋本教育委員	<p>現場の先生方の声で大きいのが、校務支援システムの導入です。これは通知表や体力健康管理のデータなどの様々な情報を校内で共有できるということで、業務の効率化も図ることができますが、現在、石狩管内で導入していないのが江別市だけということで、転勤で江別市にいらした先生方が大変困っているということです。１０月に働き方改革ということで、学校における働き方改革の推進計画が改定されたのですが、その中でも、このシステムを検討するという部分があります。業務を効率化しなければ働き方改革といっても、ただのキャッチフレーズになってしまうので、是非導入をして、先生たちが子供たちに向き合う時間を増やしていただけたらと思います。金額的には大きいのですが、人件費に換算するとそう大きな金額ではないのかなと、決して高いものではないかと思っております。  また、災害の時などに瞬時に、今何人の子供の命を預かっているのかということが分かるようなシステムです。これからの時代は、何が起るかわからないので、そういった意味でもみんなが情報共有できるように早急に導入してほしいと思っております。これも校内の無線LANがなければ、瞬時に分かるようにはならないと思っておりますので、無線LANの方も少しずつ導入する方向になればいいなと考えております。</p>
三好市長	<p>今、橋本委員からあった話は、数年前からいろいろな議論が予算上でもされており、環境が整わなかったということもございまして、なかなか議論が深まりませんでした。お話のとおり、江別市だけが残っていることは事実でございますので、他との連携調整なり、情報交換ということから言っても必要なことだろうと思っております。  教育委員会の方で、今のシステムについて何かありますか。</p>
谷口学校教育支援室長	<p>校務支援システムにつきましては、橋本委員が言われたように児童生徒の学籍ですとか成績の管理を行うということで、通常の教員の業務がこのシステムのデータを使うことで改善されると言われております。  教員は石狩管内で移動しますので、やはり江別の学校に赴任された時に最初に戸惑うのが、このシステムが導入されていないということです。子供たちの状況、健康も含めて把握できるということを鑑みて、学校にこの校務支援システムを整備することで業務が改善されること等を考えておりますので、可能であれば今後整備していきたいと考えております。</p>
三好市長	<p>もう、全体の環境としたら導入せざるを得ないというか、導入すべきだということにな</p>

<p>萬教育部長</p>	<p>りつつあるのですね。</p> <p>この間、江別市でもモデル的に江別第二小学校と江別第二中学校で導入をしております、その内容も評価した上で、非常に良い物だと考えております。かつて別の形から改善された現行のシステムが、既に石狩管内で導入されているということで、その内容をよく検証してまいりましたので、そのことを踏まえて、今後予算の編成過程で十分検討していきたいと思っております。</p>
<p>三好市長</p>	<p>他市町村では、別のシステムを導入しているところがあるのですか。</p>
<p>萬教育部長</p>	<p>いいえ。今、道内の市町村では、道教委が進めているシステムを導入しています。そのシステムの世代前のものが、小中学校で使用するには、機能が十分でなかったということがありました。</p>
<p>支部教育委員</p>	<p>バージョンアップしているというイメージですね。</p>
<p>萬教育部長</p>	<p>今は、非常に使い勝手が良いシステムになったということで、江別市でモデル的に導入した学校でもやはり評判が非常に良いです。</p>
<p>三好市長</p>	<p>以前にいろいろな意見があったのは、一世代前のシステムということですね。</p> <p>その他、予算に関連して、校内LANの話もございましたけれども、校内LANは、今、国の予算でも、やはり校内LANは入れるべきだと、これだけICT教育がどんどん進んできていますので、国もかなりてこ入れをしようという動きで、予算計上をしているようです。年末には、予算が決まりますので、その予算で今度は全国でどういう動きをするのか、我々はそこに注目していかなければならないかと思っています。単独で事業を整備するとすると、これは大変でございます。全国でもそういう要望を挙げており、それに国は応えそうな感じになっていきますので、それを様子見る必要があるかと思っています。</p> <p>ですけれども、私もやはり必要だと思っています。江別第一小学校だとか、江別第一中学校だとか江別太小学校だとか、改築整備したところだけが入るだけでは、これは問題があるかという気持ちもして、タブレットも導入の方向に今進んでおりますので、一律に全校で同じような条件にしなければならぬかと思っています。</p> <p>予算に関連して、何かありませんか。</p>
<p>支部教育委員</p>	<p>今後、校内LANと校務支援システムは、おそらく連動してくるようなものになっていくのかなと私は考えております。</p> <p>働き方改革の中で、先生方の業務の迅速化というか、業務に掛かる時間を、あるいは職員会議をしなくても同じ情報を校長、教頭、担任などが同時に理解していくということで、例えば、職員会議の回数が減るとか、職員会議自体の時間が減り、その時間が子供たちの方に向かっていってくれば、相乗効果があるかと思えます。先ほど橋本委員もおっしゃっていたことと併せて私も感じているところであります。</p> <p>成績管理、出欠、早退など、どの先生が電話を受けても入力することによって、同時に、自分のクラスの子が欠席なのかということを通じて理解できるということですので、非常に働き方改革につながるかと考えております。</p>
<p>三好市長</p>	<p>AIの世界になりつつありますので、書類に向かっている時間帯を少なくするというのは、これからの時代の要請だと思います。</p> <p>そのほか、何かありませんでしょうか。</p> <p>今、出ました働き方改革で、私は、全国市長会の文教委員会に入っております、その中で話題になっていましたのが、部活の指導者の専門性と言いましょか、授業の中で柔道や剣道、武道などが出てくる、それには、専門の正しく教える方が必要だと、特に柔道などはけがにつながるということもありまして、その方を外部へお願いするのに必要な予算の問題や人材の確保の問題などがあります。江別は、人口規模だけではなく、隣町に札幌市がありますので、そういう外部人材そのものは確保しようと思えば、比較的確保しやすい</p>



い環境にあるのではないかと私は思うのですが、人口が1万人から2万人くらいのところで、人材を確保するのは大変なようです。その人材バンクを是非つくってほしいという要望がありました。何市町村かで連携して人材バンクをつくっていただき、そこから指導してもらうようなことができないだろうか。やはり指導者として適切な人かどうかという評価が学校では難しいという話です。手挙げ方式で、私やりますと言われたときに、他に人がいなければお願いすることになってしまいますので、それを全て否定するわけではないのですが、より多くの人たちに指導者として納得してもらうには、何かしらの評価をする必要があるのではないかとということでした。3市町村か4市町村で連携してバンクをつくり、そこから指導に来ていただく仕組みをつくった場合の報酬の問題だとか、その方も仕事を持っている方だと思いますので、それをどうするかといったような課題が出ていました。どこも働き方改革の中で、何からやるのか、今お話がありましたけれども、AIだとかICT化だとか、そういう形で先生方の作業を少なくするということが一つです。それともう一つは、部活の指導者としての、仕事の量の問題もあるかもしれませんが、指導の中身の問題、そんな課題もありました。部活の方は、これから大きな課題になると思います。

教育長の方から何かありますか。

月田教育長

まず、昨年、江別太小学校で石P連の研究大会がありました。そのときには、石狩管内のPTA関係の方々が、たくさん集まったのですが、もちろん市内の各学校からも江別太小学校にたくさん行きました。そうしましたら、少し前までとは逆に江別太小学校のあの素晴らしい校舎やいろいろな設備などを見まして、他の学校の保護者の方々が、やっぱりこういうのがうちの学校にあればいいよね、という意見がたくさんありました。昔は、江別太小学校の保護者が違う学校に行くと、その学校のことがうらやましかったのですが、今は、江別太小学校や江別第一小学校に来ると、みんな、すごいねと、こういう学校になればいいよねと話しています。タブレットなどいろいろな物がありますので、そういうのを見ると、やはり保護者の方々は、同じ江別の学校なので同じようなことをしてもらいたいと思っているなど非常に感じたところでもあります。

教育予算につきましては、これまでも予算要望委員会、正式名は市教委予算の研修協議会という名前になっておりますが、学校の予算要望を集約する会議からの要望ですとか、学校との日常的な意見交換などを通じまして現場のニーズを把握しながら、今までも適切な予算措置につながるよう努めてまいりました。

今後も、先ほど言いましたように保護者の要望や教育現場の職員の声に十分耳を傾け、この総合教育会議の場などをお借りしながら、予算編成権をお持ちになる市長に、教育現場のニーズや現状を伝えてまいりたいと考えておりますので、よろしくお願ひしたいと思っております。

三好市長

予算査定をする立場にありますので、今、教育長からお話しされましたけれども、たぶんこれから予算の要望があろうかと思えます。私どもも総合計画の基本のところは、子育て環境ですとか、教育環境ですとか、様々なテーマはありますけれども、選ばれる町を目指そうということで、今進めております。子育て、それから教育の充実ということで、子育ては具体的には平成25年のあそびのひろばから始め、教育の方も同じく平成25年から電子黒板を入れ、それが少しずつ輪になって改築に合わせた校内LANというところまで進んできておまして、今、成果としては、初めて全道、全国の学力の平均を上回ると、これも一つの評価でございます。そういう意味では、だんだん形になってきている、そういう状況で今、年少人口が増えて、平成30年ですと全国12番目にランクされました。ある意味では、今、選ばれている町に近づいているのではないかと考えております。これは、やはり教育の影響は非常に大きいと思っておりますので、この流れは止めてはならないと思っております。しかも、せっかくこういう評価をいただいていることを、もっとより多くの人に知ってもらいたいということもございまして、どうアピールしていくかといったことも、先ほどの子供の肯定感もありましたけれども、市のプロモーションと言いますか、これも考えていかなければならないと思っております。そのプロモーションをするにしても、裏付けがなければプロモーションできませんので、学校または教育環境の整備というのは、そういうプロモーションの裏付けにもなりますから、それをしていかなければ

<p>谷口学校教育 支援室長</p>	<p>ならない、そんな思いで予算を査定していきたいと思っておりますので、非常に限られた予算で、非常に厳しい財政状況ですけれども、やはりメリハリを付けていく必要があるのではないかと私は思っております。これからも、いろいろな意味でお話をお聞きしたいと思います。よろしく願いいたします。</p> <p>予算に関連しましては、この程度にとどめたいと思います。</p> <p>その他ということですが、本日、協議した以外のことで、何か皆様の方から議題がありましたら、出していただきたいと思っております。</p> <p>実は、私から2点ほど後から質問したいと思っております。その前に、委員の皆さんから何かお話しがあればと思います。</p> <p>よろしいでしょうか。(了)</p> <p>新聞報道で随分大きく取り上げられたのが、いじめ問題です。この前の北海道新聞の中でも江別市の報告がありました。やはり、認知件数が最多であるという話がありました。</p> <p>市は、昨年、いじめに関する条例を制定しまして、審議会等を設置いたしました。そして、これまでの状況から重大事案につながるようなものは発生しておりませんが、先般、文部科学省から発表されたのは、やはり全国では認知件数が年々増えているという報告でありました。非常に報告しやすくなったということも裏にはあると言われておりますけれども、江別の状況、認知件数等に触れて、今一度皆様方と現状確認をしておいた方がよろしいかと思い、もしデータがあったら事務局からご説明いただけますか。</p>
<p>三好市長</p>	<p>私から江別市におけるいじめの状況についてご説明いたします。</p> <p>まず、文部科学省は10月17日に、平成30年度の全国いじめ認知件数は、平成29年度の41万4,378件から12万9,555件増加した54万3,933件であり、過去最多となったと発表しました。</p> <p>また、都道府県別で北海道は2万1,408件と8番目に多い件数でしたが、児童生徒1,000人当たりの認知件数は40.8件と全国平均40.9件を僅かに下回っております。</p> <p>江別市のいじめ認知件数は、平成28年度に21件、平成29年度に65件そして平成30年度では436件と増加しており、前年度に比べ6.7倍の増加となっております。</p> <p>このように全国的に認知件数が増加した要因は、文部科学省が平成29年3月に改定したいじめの防止のための基本的な方針の中で、いじめの定義の解釈を明確にし、積極的に認知することとしたことによるものと考えます。</p> <p>当市におきましても、江別市いじめ防止基本方針及び各校のいじめ防止基本方針を改定し、積極的な認知に向けて取り組みを進めております。</p> <p>各校では改定した内容に基づき、教職員の研修及び児童生徒への指導等を実施し、スクールカウンセラーや心の教育相談員等による相談の充実を図っております。</p> <p>その結果、学校から積極的に認知報告が行われたことで、江別市の認知件数が増加したものであります。</p> <p>次に、いじめ防止対策推進法の規定により設置しました江別市いじめ防止対策審議会は、学識経験者、弁護士、人権擁護委員、臨床心理士等の専門知識を有する5名で組織しております。</p> <p>いじめにより児童生徒の生命・心身又は財産に重大な被害等が生じる重大事態は、現時点では発生しておりません。</p> <p>今後も、いじめの早期発見・早期対応及びいじめ防止に係る教育を行う体制を継続することはもちろん、重大事態発生時には迅速・適正な対応を行ってまいります。</p> <p>以上です。</p> <p>ただいまのいじめに関連した改定後の件数、これは平成30年度で436件という話がありましたけれども、事務局の方で発言された対応について何かご質問等はありませんでしょうか。</p> <p>私から伺います。</p> <p>この436件は案件別にフォローされているのでしょうか。報告があったものは、どのような内容で、どのような形で、どのようなものかといった重大事案につながるようなものであるかどうかということも含めて、フォローしているのでしょうか。</p>

谷口学校教育支援室長	各学校からいじめにつきまして、北海道の調査になりますが年に2回、アンケート調査などを行いながら、子供たちの状況を含め把握している状況です。その案件につきまして、市長が言われたとおり、一件一件、状況、対応について教育委員会の専任相談員等も関わりながら、対応し解消に向けて取り組んでいる状況でございます。
三好市長	少し気になるのが、この方がこういう形でいじめを受けているという報告が来て、匿名の場合は分かりづらい場合もあるかもしれませんけれども、いじめの事案が特定された場合には、先生が子供たちから話を聞くなり、または何がしの対応をしますよね。対応した結果、それがどうつながっているのかというフォローはするのでしょうか。
谷口学校教育支援室長	市のいじめ防止基本方針の変更に伴い、今までは学校でいじめ等があった場合、児童生徒同士が仲直りしたことで解消という取り扱いを行っておりましたが、改正後は3か月後もその状況がきちんと継続されているかどうかを把握するというようにしておりますので、その後の経過につきましても把握することを行っている状況でございます。
三好市長	わかりました。
須田教育委員	この436件の小学校、中学校の内訳を教えてください。
谷口学校教育支援室長 三好市長	小学校で339件、中学校で97件の合計で436件となっております。  この件数が、多いか少ないかというのは分かりませんよね。引き続き、フォローをしてください。よろしく願いいたします。 それともう一つ、スマートフォンの問題があって、スマホでいじめなども出てくるでしょうし、それから子供の生活パターンが、ガラッと変わるという報告もありまして、何がしかの規程を作る必要があるかなという気持ちもしながら、ではどう対応していくのかと。他の自治体でも、随分、困っているようですので、その辺、何か具体的に対応をしているのであれば教えていただければと思いますけれども、いかがでしょうか。
月田教育長	今年度も1月14日に中学生サミットというものを開催する予定ですが、江別市では、スマートフォンやインターネット等の利用に関する共通ルールえべつスマート4RULESというのを決めまして、平成29年度に開催した中学生サミットにおいて、このルールを守る行動宣言を行い、各中学校の生徒会は、毎年アイデアを駆使した取り組みを実施しているところであります。その内容ですけれども、例えば、校内放送で全校に働き掛けるとか、生徒会で全校アンケートを行うとか、学校とタイアップして講演をしてもらうとか、パワーポイントを使った説明をするとか、アジア国際子ども映画祭というのがあるのですが、その映画の中にスマートフォンの使い方等も入れた映画を作るとか、ポスターを作るとか、電光掲示板を使ってお知らせするとか、いろいろなアイデアが出ておまして、実際に各学校で行っているということです。 また、スマートフォンの取り扱いについては、大阪府で災害時の安否確認ツールとして学校への持ち込みを容認するというので、文部科学省でも学校への持ち込みに関し、緩和を含めて検討が進められているということも聞いております。 今、市長からもお話がありましたけれども、江別市におきましても、利用に関するルールはもちろんのこと、今後の課題につきまして、この総合教育会議の中で議論がさらにできればいいなと思っておりますので、これらを議題としていただければ、本当にありがたいと思っております。 以上です。
三好市長	ただいま、教育長の方から話がありましたけれども、みなさんの方から何かご意見はございませんでしょうか。
支部教育委員	今、中学生サミットというお話もありましたけれども、学校開放日に中学校を訪れた際、

	<p>各クラスで行っている壁新聞の中に、いじめに関する自分たちの考え方や意見が載った壁新聞が結構ありました。中学生自身が、自らいけないんだよと、なぜいけないのかというような論議をした壁新聞を貼ってあり、少しずつ動いてきているのかなという感じを私は受けました。</p>
三好市長	<p>文部科学省も含めて、全体としては、そういう使い方の一つのルールを決めようという方向に進んでいるということでしょうか。まだ、そこまではっていないのでしょうか。</p>
萬教育部長	<p>検討中ということですから、いろいろな課題がございまして、非常に高価なものでありますし、それを授業中もそれぞれ持たせるのがどうなのか、一旦預かってということであれば、その管理を誰がするのかとか、様々な話があります。しかるべき時期に国としての一定の考え方のようなものを示そうとしているところだと思っております。</p> <p>以上です。</p>
三好市長	<p>本市としては、文部科学省の動き、それから全国の動きを見ながらという形になるのでしょうかね。どうしてもやはりいじめの原因の多くが、スマホのLINEだとかいろいろなところから出ているという話もありますので、そろそろ無視できない状況かなという気持ちはしておりますので、よろしく願いいたします。</p> <p>その他のところになりますが、1つ目の学力の問題、2つ目の令和2年度の予算の問題、それから2点程、私から出させていただきましたけれどもその他の項目、それ以外も含めて、全体を通して、ご意見、ご質問がありましたらお伺いしたいと思います。</p> <p>よろしいでしょうか。(了)</p> <p>それでは、本日の総合教育会議の予定した議事はすべて終了しました。</p> <p>次回以降の会議は、また日程調整をしながら進めてまいりたいと思っております。今のところは、緊急で協議を要する事案がない限り、新年度に開催を考えております。その際は、事務局を通じてご連絡をさせていただきますので、どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>以上をもちまして、本日の江別市総合教育会議を閉会いたします。</p> <p>熱心なご議論、ありがとうございました。</p>